





# 平成30年度一般会計補正予算 1億3,939万円を追加し、 総額を120億9,804万円とした

## 主な歳入

- ・固定資産税（鹿瀬発電所償却資産）……………1億円
- ・国庫支出金（川を活かした町づくり交付金）…5,970万円
- ・基金繰入金（畜産振興基金）……………183万円
- ・雑入（B&G財団、他）……………1,920万円
- ・町債（川まちづくり、B&G改修）……………1,470万円

## 主な歳出

- ・地域コミュニティ（室谷みこし助成）……………250万円
- ・地域交通確保（万代病院停留所）……………64万円
- ・地域おこし協力隊招致事業……………400万円
- ・優良繁殖雄牛導入費……………184万円
- ・川を活用したまちづくり推進事業……………6,600万円
- ・地域再生マネージャー事業……………1,010万円
- ・阿賀の里施設管理費……………1,105万円
- ・津川B&G体育館改修費……………2,100万円



改修予定の津川B & G体育館



川を生かした町づくり予定地（津川漕艇場）

6月定例会議は、6月20日から6月25日までの6日間の日程で開催され、町長から提案された議案15件（平成30年度一般会計・特別会計補正予算6件、専決処分の報告1件、繰越明許費計算書1件・第三セクター等の平成29年度財務諸表の提出5件、条例改正1件、財産の取得1件）を審議し、原案のとおり可決した。また一般質問は、8人の議員が町政全般について活発に質問した。

# 6月定例会議

## 特別会計補正予算

- 国民健康保険特別会計予算  
減額補正 368万円 13億6,627万円
- 介護保険特別会計予算（保険事業）  
追加補正 221万円 22億6,494万円
- 診療所特別会計予算  
追加補正 454万円 2億742万円
- 簡易水道特別会計予算  
減額補正 444万円 6億4,683万円
- スキー場事業特別会計予算  
追加補正 129万円 7,907万円

## 財産の取得

- 建設機械（8t級除雪ドーザー）  
（三川地区配備）  
購入金額（消費税含）  
10,768千円



購入予定ドーザー

平成29年度  
第三セクター財務  
諸表提出される

- 一、奥阿賀観光株 財務諸表

- 一、(株)上川温泉 財務諸表

- 一、(株)阿賀の里 財務諸表

- 一、(公益財団) 上川農業振興公社の財務諸表

一、(一般財団) 三川農業振興公社の財務諸表が提出されました。この審査は全員協議会兼議会改革推進会議で7月に行なわれました。

## 財務諸表の審査日程

- 7月11日（火）
  - 一、奥阿賀観光株 9時
  - 一、(株)上川温泉 13時
- 7月13日（木）
  - 一、(公益財団) 上川農業振興公社 9時
  - 一、(一般財団) 三川農業振興公社 10時半
  - 一、(株)阿賀の里 13時

# 委員会活動レポート

## 総文社厚事務調査報告

1. 統合後の保育園運営 上条・ひまわり保育園
2. 津川小・三川小中施設
3. 体育施設管理状況

### 総文社厚常任委員会

委員長 齋藤秀雄

#### 管内調査

- ◆調査日 平成30年6月29日
- ◆説明員 町民生活課長・学校教育課長・社会教育課長・三川中教頭

#### 調査の概要

##### 一、統合後の保育園運営

上条・ひまわり保育園とも、庄司園長・伊藤園長より統合後の運営状況と施設等に対する説明を受け、現地調査を行った。

##### 二、津川小・三川小中施設整備

津川小駐車場整備について現地説明を受けた。三川小中では給食センターとエアコン設置状況を調査した。

##### 三、体育施設管理状況

上川B&G・三川B&G体育施設と県立津川漕艇場及び町艇庫について現地調



施設等の説明を受ける（上条保育園）



駐車場位置の説明（津川小学校）

#### まとめ

査を実施した。

一、保育園運営は各園長からはスムーズに運営されていると感じられた。しかし、問題は冬期間の通園バス運行ではないかと提起された。今後検討されることを望む。また施設については清掃業務を考えること。

防犯カメラ設置の検討を

望む。

二、津川小駐車場整備については施工時期や町道乗り入れを考慮すること。

三川小中給食センターについては必要と思うが搬入方法等は検討を願う。エアコンは全ての教室に設置されている。統合前に津川・上川小へは設置を求める。

三、体育施設管理について



施設利用状況の調査（上川B&G）

は良くされている。利用者に対し不快感を与えないように望む。

各施設とも利用者の意見を取り入れた改修計画を望む。ポートの町として広報活動の強化を望む。

各施設とも他町にない施設を有している。今の利用状況からすると長期合宿誘致等して収益を得る施策も考える時期ではないかと思う。

# 産業建設事務調査報告

- ①除雪体制の検証
- ②(株)上川温泉と奥阿賀観光株合併の進捗状況
- ③阿賀の里経営改善に向けた平成30年度取り組み  
(現地調査あり)

**産業建設常任委員会**  
委員長 五十嵐 隆 朗

## 管内調査

◆調査事項① 除雪体制の検証

### 調査の概要

昨年度は大変な大雪のため阿賀町全域に災害救助法が適用になった。町の除雪費も合併後初めて10億円を超えた。除雪体制を含め、町の除雪対応に問題がなかったか、又改善を必要とすることはなかったか調査した。

### まとめ

今冬は大雪であり、作業が間に合わないこともあり、朝7時までは1路線を確保するために全力を尽くしたが、町民からの苦情が出、その都度対応に追われた。まだ問題が多く残っているように、今後の調査も調査を続けていく。



大雪のため消雪がまにあわない(津川1区)

## 管内調査

◆調査事項② (株)上川温泉と奥阿賀観光株合併の進捗状況

### 調査の概要



急がれる(株)上川温泉と奥阿賀観光株の合併

統合の準備資金として(株)上川温泉に5千万円の出資を議会は認めて、3か月を経過した。進捗状況について現地を含め調査した。

### まとめ

(株)上川温泉と奥阿賀観光株の合併については10月には合併をしたいとの意向だ。早期経営の一本化に向けてスピード感をもってあたってほしい。

◆調査事項③ (株)阿賀の里の経営改善に向けた平成30年度の取り組みなど現地を含め説明を受け、調査した。

### まとめ

改善に多くの意見が出たが場内放送を取り入れて明るくなったという話もあった。今後、ジェット船が導入されるが、安全と安心を売りに多くの観光客に利用していただくことで、経営の安定にも期待する。



経営の安定化には絶対必要と船下りにジェット船が導入される阿賀の里



## 地域と語る会

# 鳥獣被害等をテーマに

## 広報広聴常任委員会

委員長 入倉政盛

## 地域と語る会 の開催

平成30年5月23日(水)、  
25日(金)、6月11日(月)、  
12日(火)の4日間、3班に  
分かれて、各地区12会場に  
おいて「地域と語る会」を  
開催しました。

今回のテーマは、鳥獣被  
害対策等について懇談しま

した。地域の  
皆様から様々  
な意見、要望  
等を頂きました。

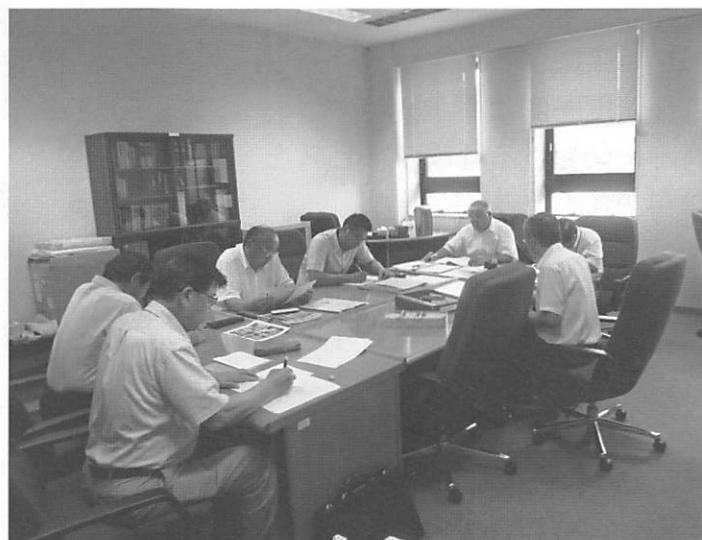
早くGPS  
によるサルの  
動静が把握で  
きることを望  
むところです。  
今回の「地域  
と語る会」は、  
今まで以上に  
住民の皆様と  
議会との距離  
が縮まったよ  
うに感じられ



集会所での語る会の様子 (黒岩地区)

ました。これからも、議会  
が住民の皆様にも身近にある  
よう務めてまいります。  
皆様からお聞きした意見  
や提言は号外として、委員  
会で協議、編集し、今後発  
行する議会だよりと一緒に  
発行する予定です。よろし  
くお願いします。

## 議会だより (第52号) 編集作業



委員による編集作業の様子

- ・ 4月4日(水)  
提出原稿、写真の確認、  
原稿誤字脱字の確認。
- ・ 4月10日(火)  
原稿読み合わせ  
(誤字脱字、言葉遣い)  
印刷依頼
- ・ 4月18日(水)  
読み合わせ
- ・ 4月24日(火)  
最終チェック、印刷へ

この4日間で広報委員会  
で編集作業を行った。  
町民の皆様に分かりやす  
い議会だよりになるよう努  
めます。



北海道二セコ町行政視察研修（二セコ役場）

平成30年6月定例議会では、8人の議員から一般質問があり、町政全般について活発な議論が行われました。

### 1 五十嵐 隆朗

- ・通学路、安全対策強化を急げ
- ・無人航空機（ドローン）を導入しては

### 2 石田 守家

- ・野中さくらの保存管理は適切か
- ・上川農業公社の現状はどうか

### 3 小池 隆晴

- ・指定管理制度を聞く
- ・少子高齢化における行政サービスをどうかんがえる

### 4 入倉 政盛

- ・子供医療費の無料化拡大を
- ・給食費の保護者負担の軽減を
- ・高齢障害者への介護保険優先原則の実態は

### 5 齋藤 秀雄

- ・温泉活用を考える
- ・公共施設の維持管理

### 6 神田 八郎

- ・再度問う、廃屋対策を

### 7 清野 眞也

- ・子育て支援の強化と移住促進を
- ・今年度のふるさと納税対策は

### 8 齋藤 栄

- ・阿賀町の人口減少化を問う
- ・阿賀町に就業できる場の創設は
- ・地域おこし協力隊の活用

\*一般質問＝議員が執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針について所信を質し、あるいは報告、説明をもとめ又は疑問を質すことをいう。本町議会の場合「一問一答方式」で質問時間は、答弁を含め一人一時間以内となっている。



いからし たかお 議員  
五十嵐隆朗

# 問 通学路の安全対策強化を急げ

## 答 校長会などを通じ指導を徹底する

### 通学路の安全点検は

**質問** 登下校中の児童を狙った犯罪や事故が後を絶たない。子どもの安全を守るにはどんな対策をしているか。

### 津川警察からパトロール強化の申し入れ

**教育長** 地域保護者の協力、全校集会や学級指導等で子どもたちの指導を行う。さらに家庭配布、文章で保護者への注意喚起、スクールガード員に登下校時の見守りを依頼。各学校の実情に合わせて積極的に対応している。津川警察署からもパトロール強化の申し出があり、連携を図っている。

### 不審者情報

**質問** 警察と管内小中学校だけが不審者情報を共有し、地域住民まで届いていない。

### 情報を共有

**教育長** 各学校に情報を流すシステムになっている。

今後情報の共有を密にする。

### 防犯カメラは必要ではないか

**質問** 防犯カメラ、維持管理やプライバシーの観点から問題があるが、管理体制や画像の取り扱いなど運用指針を定めれば、可能では。県内6市町村で補助金を出している。

### 効率的、効果的に取り組みたい

**町長** 具体的に今の情勢からすれば、必要と感ずる。まずは取り組みを先行させて、積極的にとりくむ。

### 安全、防犯面も目配りを

**質問** 児童、生徒が事件・事故に巻き込まれないよう、対策に万全を期していただきたい。

### 二重、三重に安全確保

**教育長** 郡警察連絡協議会はじめとし、日頃から連携を強化し、情報共有し、児童・生徒への指導、保護者、地域と二重三重に安全確保を徹底していきます。

# 問 ドローン(無人航空機)の導入

## 答 活用について積極的に検討

### 質問 近年ドローンが急増して、いろんな場所で活躍している。阿賀町は広大な面積を持ち、災害時などで情報の収集に苦慮した経験もある。そこで、災害時におけるドローンによる空撮画像による被害状況、救助活動に必要な情報の収集と提供。ポート大会、鳥獣被害対策など、利用価値は十分あると考えるが。

### ドローンスクールの誘致

**質問** 飛行地域の制限が厳しい為、練習場が不足している。廃校など利用し、新規事業として誘致しては。

### ドローンの町、阿賀町

**町長** 地域の活用という観点から最適な場所もあり、新産業創出としても具体的に考えたい。

### 活用事例の情報収集

**町長** 災害発生時における現状確認、写真撮影などによる活動、国・県との災害時における協定を締結している自治体もある。ドローンによる、地域課題の解決や事業創出の推進を目指す、活用事例の情報収集を図り積極的に検討します。



津川漕艇場ドローンテストフライト



# 問 野中ザクラの保存管理は適切か

## 国指定の天然記念物、ベニヤマザクラの樹の枝は限界



いしだ もりい え 議員  
石田守家

### ベニヤマザクラ・植物学上貴重とのこと

**質問** 野中桜、昭和二年に国の天然記念物指定。

野中区の極楽寺内に保存されている。大きな幹、枝が枯れ上がった状態、これら枝の生命は限界なのか。本年度の管理費は四十八万円ほど、町の定期的管理状態はあまり感じられないが枯れあがった枝、幹の伐採等はどうか。専門的に枝の生命に力を注いでいるのか伺います。

**町長** 以前から樹の幹が枯れ、カワウソタケ付着と不用樹の枝の伐採は緑化推進委員会でも検討しています。町として適時管理については野中区と連携している。野中区極楽寺内のザクラについては、天然記念物指定でもあり慎重に取り扱っている。文化庁の判断もあり、今一度早急に伐採認可を頂くよう対応したい。

**質問** サクラの開花時期、日々、野中区の管理は適切と感じますが、教育委員会では早急に文化庁と処理判断をするよう。

**町長** 植物学上貴重なものであり、文化財保護の原点を重視し、ベニヤマザクラの樹の枝の生命を一日も長く続くよう努めて来たが樹の枝の生命の継続は困難。



枯れあがったベニヤマザクラの樹の枝

### 上川農業振興公社の現状と作業員辞職に配慮を

**質問** 公益財団法人である上川農業振興公社に今年新たに農業に意欲をもった青年が就めたが、一名が一ヶ月で辞職している。

雇用契約、労働条件などがあるが、公社の新人の受け入れ体制に問題はなかったか。

役員の組織体制もそのまま。町は公益財団法人への関与は容易でないと思われるが、町の指導責任は果たされていない。作業遅れもあり現況はどうか。

### 辞職関係等詳しく把握し指導して参りたい

**町長** 農業振興公社は、公益財団であり組織構成まで深く介入できない。辞職された内容は詳しく把握していない。本年度の作業も大幅に遅れている。

農業専門学校等経てのこれまでの経過である。組織

構成の指導、従業員不足のなか慎重に対処し対応して参ります。



上川農業振興公社



6月28日現在田植前の現況





こいけ たかはる 議員  
小池隆晴

# 問 町の指定管理者制度への考えは

## 答 「収益性・公益性」を考えて役割を

**質問** 阿賀町では指定管理者制度を利用し、多くの施設を運営しています。指定管理者制度についてどのように考えているかお聞きします。

**町長** 平成15年の地方自治法の一部改正により、地方自治法244条に定められている。

その目的は、多様化する住民ニーズにより効果的に効率的に対応するというところで公の施設の管理に民間の能力、活力を取り入れて、住民サービスの向上を図り、加えて経費の削減を目的に導入された。

阿賀町ではここ数年、観光施設に関わる第三セクターの決算は、赤字が続き非常に厳しい状態が続いている。

**質問** 阿賀町では指定管理者制度の課題が多く残っていますが、課題を考えての阿賀の里の指定管理者制度でしょうか。

**町長** 本当は関連する団体

にお願いをし、「収益性」か「公益性」かを、考えて運営をしていくことが本来の趣旨ではないかと思うところがあるので見直しをしていく。

「収益性」が求められるところは民間的要素を入れて、徹底して町民サービス、創意工夫を凝らしながら取り組んで行く。従業員の意識も高まってきているので期待をしたい。



指定管理者制度で運営が始まる阿賀の里

# 問 今後の行政サービスは

## 答 需要と供給のバランスを取りながら

**質問** 今後も安定した行政サービスを提供するために施策の検証と時代に合った適切な行政運用が必要と考えるが、どうですか。

**町長** 財政と言うのは、日々変化している。時代に合わせた、需要と供給のバランスを取りながら取り組んで行く、行政改革はとどまることなく進めていく。

**質問** 現実に財源が減少する中、過疎化が増え、要望、要求事項が多くなっている。そのようなときにどのような説得をもって相手に語るかということは大事だと思っている。

**町長** 職員教育はどう考えるか。

税金が少ない中で、鋭意、創意工夫を凝らしながらやっている。反問権もあるということですから、

あなたはどうか考えるか。

**小池** 大きく社会情勢が変わってきている。また財源の大きく減少する中、町民への説明が、分かって貰うための説明とは何かを考えることは大切なことではないか。

**質問** 大きく社会情勢が変わってきている中、サービスの供給システムとして見直しがあればお願いします。

**町長** 今の提供しているサービスの低下につながるように、財源の確保をどこに求めていくかが先だ。

**質問** 一般会議をやりました。その時に行政の幹部の人から「行政は利益を求めるところではない。」と言葉が出たそうです。どう思われますか。

**町長** そういうことはないと思っている。



大雪でまにあわない消雪パイプ

# 問 子ども医療費の無料化を

## 答 無料化に対応していきたい



いりくらまさもり 議員  
入倉政盛

**質問** 子ども医療費助成、補助金制度が交付金化になりました。

町でも平成28年10月1日から就学前まで全額助成を実施している。

県は今年から子ども医療費助成の対象を小学校6年生まで拡大した。小学校卒業まで無料化できないか。

無料化した場合の試算は幾ら必要になるか。

**町長** 国保の交付金の算定方法が変更になり、今年度の町への交付金が減額になる。

子育ての支援は後退することがあってはならないので、一般財源を充てることになっても維持して行きたい。

小学校卒業まで無料化した場合の試算は200万円程度ではないか。ご指摘された部分については対応して行きたい。

# 問 給食費の保護者負担の軽減を

## 答 どのような対応が出来るか検討していく

**質問** 学校給食費の無料化や助成の保護者負担を軽減する施策を県内5市町村が実施している。

財政がネックになって実施できない自治体が多いと聞いている。

財政問題も含め保護者の負担軽減、無料化に一歩踏み出す事が出来ないか。

**町長** 少子高齢化が大ききな社会問題となっている中、その対策の一環として、全国の自治体では給食費無料化、子育て世代への支援策、人口減少対策として取り組む自治体もふえて来ているのが現状かと認識している。

町が給食費を無償化した場合、現在の運営費の公費負担に加え、



元気な子どもは食育から

保護者負担の収入分が必要となる。かなりの財政負担が求められることになるので現状では無料化は難しい。今後、先進市町村の取組を参考にし、財政とも相談しながら町でどのような対応が出来るか検討する。

# 問 高齢障害者の介護保険移行優先原則の実態は

## 答 前向きに取り組む

**質問** 障害者サービスから介護保険制度移行は制度上の違いから、利用者の負担発生、支援される支給量、質の低下、環境変化に起因する諸問題に直面することが考えられる。

**町長** サービス面でも大きな違いがないようにしたい。利用料についても自己負担分を障害福祉サービス等給付費の支給対象とすることにしたので利用者負担の軽減になると思う。

諸問題については、障害者サービス事業所でも介護保険事業者でも共通のポリシーで運営されており、問題が発生しないよう適切な指導のもと今後も続けていきたい。





議員 齋藤 秀雄

# 問 温泉で町を元気に

# 答 原点に帰り取り組む

## 温泉活用を考える

**質問** 各温泉施設の三セク経営が破綻しています。

町民の健康づくりを考え町民保養施設として運営を民間に委ねることも考えて、再構築を図ることを提言します。また、町民の為になる施設運営をしなければなりません。

町も利用者も施設職員も良い、明るく最高の温泉活用を考えませんか。



健康増進に役立つ温泉活用

## 原点に戻り取り組む

**町長** 本来の設置目的は、町民保養の場として健康増進と福祉の向上、地域資源を利活用した誘客促進、観光関連産業振興を掲げていた。現状は公費負担増にな

っている。再出発するには原点に戻り住民の健康増進に寄与できる施設運営に取り組む。

町民に負担がない方向で協議し再構築を図りたい。

## 孤立集落解消を

**質問** 阿賀町には災害時には孤立する集落や行き止まり集落があります。

三川地区中ノ沢・津川地区西、赤岩、大牧、京ノ瀬、角島・上川地区栃堀、広瀬より室谷まで、鹿瀬地区は豊実、日出谷です。

地域から要望は出ている現地確認し対処願う。

## 国・県と協議している

**町長** 国道・県道沿いの点在した集落であります。迂回路としての機能が果せるよう農道や林道管理をし、

地域の要望は聞いているので、さらに国県と協議を重ね整備促進を図っていく。

## 町道の舗装修繕を

**質問** 冬期間の除雪で傷んだ舗装修繕は計画を立ててやるべきではないのか。他

県では災害としてしていると聞かすが要望しないのか。

## 将来的に計画する

**町長** 現段階では計画はないので今後計画を立てていく。

## 遊休施設管理は

**質問** 統合により空き校舎が増えます。利活用計画が立案しているのか伺います。

## 利活用委員会で検討

**町長** 職員で利活用委員会を立ち上げ検討している。計画ができ次第協議報告する。

## 民間福祉施設経営は

**質問** 民間福祉施設経営に不安はないのか。町は指導関与されているのか。町の体制はどうなっているのか。

## 情報交換していく

**町長** 情報交換する場をつくり協議していく。民間経営なので町として情報共有して指導したい。

# 問 再度問う「廃屋対策」

## 答 条例の周知徹底を図りたい



神田八郎 議員

**質問** 「阿賀町空き家等の適正管理に関する条例」が制定され、平成26年1月1日よりこの条例が施行された。「老朽危険空き家（廃屋）」等の認定には、町民等からの情報提供があり、その後審査会を設置し、審査会委員が実態調査をすることになっている。

**委員長**には副町長が当ることになっていますが、今までに審査会は開催されたか。

**総務課長** 今までに審査会は開催しておりません。ただ早急に対応してもらった事例はある。先般も強風で隣家に危険が及ぶとのこととネットで設置しましたが、その後、所有者にお願いして、現在は更地になっている。

やはり個人の資産でもあるので、こちらから継続して安全管理をお願いするというのが実情です。



当町のイメージダウン最悪の旧食堂(吉津地区)

**質問** 危険家屋の認定には調査1と調査2があります。調査2としては、周辺の建物や公道への影響として4ポイントある。

(1) 建築資材の飛散や落下の危険性  
 (2) 不特定の人の侵入による犯罪の危険性  
 (3) 放火等の火災の危険性  
 (4) 積雪による倒壊の危険性

以上の1つでも該当すれば危険家屋と認定される。認定家屋の管理者等に対



町内に点在する放置廃屋

して、町側は「助言」や「指導」そして「命令」ができる。その氏名、住所も「公表」できる。しかし行政が動くには、「区長や町民からの連絡」が必要である。ですのでこの条例の周知方を是非お願いする。

**町長** 区長さんからこの条例の趣旨を十分理解していただいで、取り組むことが重要かと思う。次の区長会等で説明していきたいと思う。

**質問** 旧三川地区でも危険家屋は何件か見受けられた。新谷地区で1件。細越地区にも1件あった。五十沢地区の温泉街にも1件とホテルみかわへの入口付近でも放置状態の家屋がある。そして国道49号線の吉津地区の旧食堂は実に景観上よくない。

予備軍家屋が300件程あるとのことですが、所有者と連絡を取り合うことが大事だと思う。

**町長** 私もそれが一番だと思う。せっかくの条例ですので、今後区長さん達に周知徹底を図って、協力して頂くように実行していきたい。





清野眞也 議員

# 問 子育て世代包括支援センターの設立を

## 答 子育て政策の充実を図っていく

介護におけるケアマネージャーやケアプランのようなサポートを提供する子育て世代包括支援センターの設立をし、子育て支援の強化と移住促進を

世代包括支援センターの全国展開を目指している。国が示すセンターの業務内容が6つあるが、このうち個別支援プランの作成以外は阿賀町では既に取り組んでいる。

き口の提供など総合的なパッケージ化をしてはどうか。  
**町長** 取り組んでいかなくはない問題であり、固定観念にとらわれることなく、職員の皆さんの力に期待をし、一生懸命やっていく。

**質問** 阿賀町の子育て政策は他市町村に先駆け手厚い政策を行っているが、それによって移住者が増えたという話を聞いたことがない。情報発信力不足ではないか。

現状でも、最大限活用してもらえれば安全安心に子育てできると思っている。

**質問** 出産祝い金の増額は可能か。隠岐島の海士町では、結婚祝い金10万円、出産祝い金が1人目10万、2人目20万、3人目50万、4人目以降100万にし、年間出生人数が10人から15人に50%上がっている。

**質問** 昨年度6億円集まったふると納税だが、今年度は南魚沼市、魚沼市が阿賀町の利用していたポータルサイトへ入ってくる。対策をしなければ減ってしまうと考えるが、対策は検討しているのか。

また国では、子育て世代包括支援センターの設立を2020年までに全国市町村への設置を目標にしている。これはフィンランドのネウボラという政策を取り入れたもので、妊娠期から6歳まで総合的に切れ目なくサポートを提供するというものだ。

情報発信については、まさにそのとおりであり、強く反省の上に立ち、より力を注いでいく。

**町長** 事例としては知っているが、島という特殊性もある。提案していただいたこと全て取り組めればいいが、限られた財源の中で取捨選択し、本当に生きる財源の使い方を検討していく。

**町長** ご指摘のように魚沼市はすでに受付を開始しており、南魚沼市は導入を検討しているとのこと。阿賀町は他の専用サイトへの参加を検討している。また、これらの委託は寄付金の受付業務のみとし、返礼品の発注、発送手配、問い合わせ対応を別途町内業者に委託することで、寄付から派生する業務委託料を地元に残す仕組みも考えており、取り組んでいく。

町においても、子供ができたときから6歳までの期間、一人の方が継続的に対応していただけるようなワンストップ型の阿賀町版子育て世代包括支援センターを求める。

**質問** 子育て支援包括支援センターという新しい制度を利用し、再構築することで、更に阿賀町が子育て支援に力を入れているということが、町外にもアピールできるのではないか。また移住促進のためにも、空き家の提供や空き地への住宅の補助、通勤の補助や、働

**町長** 昨年度6億円集まったふると納税だが、今年度は南魚沼市、魚沼市が阿賀町の利用していたポータルサイトへ入ってくる。対策をしなければ減ってしまうと考えるが、対策は検討しているのか。

### 問 今年度のふるさと納税対策は

他のサイトへの掲載と、町内事業者への委託を検討



長岡市のネウボラ施設

# 問 人口減少化と集落維持に問う

## 答 減少幅を減らす取り組みをしている



議員 栄 藤 齋 さかえ さいとう

**質問** 国立社会保障・人口問題研究所が5月に発表した。人口推計が、当町は平成25年3月の推計を上回って減少が進んでいる。消滅集落も出てくるが、町はどう考えるか。

**町長** 地域おこし協力隊の招致事業、社会基盤のレベルの維持に努め、学校や保育園の統廃合、行政機能のコンパクト化や住民生活のレベル維持、人口が増やさないまでも減らない効果が出てくればと思っている。ふるさとを考える若者の育成や大学との連携活動の取り組みが成果となってくることを期待している。これまでの集落形態で住み続けることは理想。減少が著しい集落は、区長とも相談しよりよい集落のあり方を進めたい。地域を守っていく皆さんと連携を密にし、地域とあり方を行政として応えることが喫緊の課題だ。

## 問 就業できる場の創設は

### 答 林業・農業・観光業に期待

**質問** 町長は私の3年前の質問に、阿賀町に就業を供給できる場の創設は、自然環境を生かした企業立地と応えていた。3年経過した進捗状況を伺う。

**町長** 最近頑張っている代表例が「コンビリ」さんで地域の食材を商品製作し、新しい顧客の発掘や有名デパートでの販売等を積極的に展開している。ふるさと納税のインターネット展開で阿賀町産の米が飛躍的な成果を収めた。これは、稲作農家に大きな希望を与えた。

地域資源を有効活用した特色ある林業・農業・観光業だ。工夫次第では、産業が発展するサイクルが形成可能となると思っている。



秋の実りを待つ棚田

## 問 地域おこし協力隊招致事業の活用は

### 答 地域ニーズを把握し、有効活用を図る

**質問** 地域おこし協力隊の任期満了後の定住率は全国的にも6割を超え、当町への定住も高い。総務省も8,000人まで拡充するとしている。町の今後どう進めていくのか。

**町長** 退任後、7名中6名が起業や就職で阿賀町町民として活動を続けている。地元の皆さんも受け入れてくださり地域にとって大きな存在となっている。

**質問** 阿賀町の将来を良くしていこうと日々考えてくださる町民は多くいる。公開されているビッグデータの活用方法を、町が講習会等を行うことで、町民が多様なアイデアを出し活性化が醸成すると考える。

町民が町の活性化を出し合うことも、町としての施策のヒントになるのではないか。

**町長** ふるさとはこのような状況ですから是非とすることは東京上川会に行く度に言いつつ協力してもらえらるるよう吹聴し、更に広げてもらっている。地域の皆さんからもご理解と協力いた、だくことを願う取り組み



西会津町

# 議会交流会

阿賀町

## 情報交換会

平成30年6月29日（金）西会津町道の駅「交流物産館よりつせ」で午前10時より西会津町武藤・阿賀町猪俣両議長の今後の強い絆での交流会を誓って挨拶が行われ、全議員出席のもと恒例の情報交換会が行われた。

### \*西会津町会場（道の駅「交流物産館よりつせ」）

#### ①西会津町の観光資源の活用

・説明 にしあいづ観光交流協会

#### ②広域ごみ処理によるごみの分別と生ごみ処理

・説明 西会津町町民税務課

### \*阿賀町会場（阿賀町役場多目的ホール）

#### ①阿賀町ふるさと納税の取り組み

・説明 阿賀町観光振興課

#### ②新渡く徳沢間国道459号整備促進

・整備促進に向け両町議会意見交換

#### 【内容】

県境付近の道路は急峻な地形のため、幅員狭小ですれ違いもままならず、落石の危険もあるという極めて危険な箇所である。現道拡幅でなく町道橋を経由し福島県側に渡る新橋架設による改良が必要であると、両議会協力することで決まった。

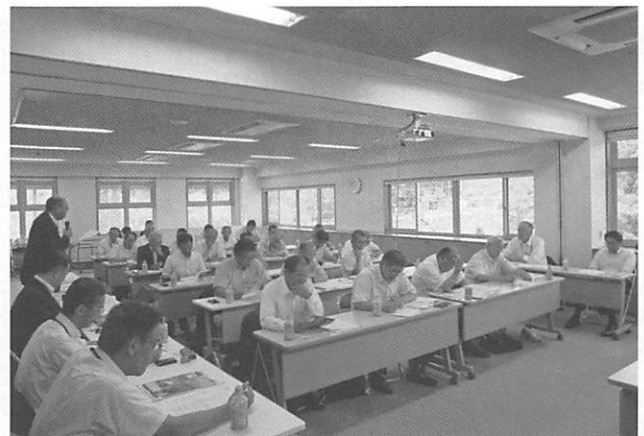
#### ③議会広報紙面づくりについて

・発表 西会津議会広報特別委員会

阿賀町議会広報広聴常任委員会



阿賀町会場での研修風景



西会津会場での研修風景

知って  
ますか？

# 地域おこし協力隊

阿賀町では卒業した隊員も含めて、県内でトップクラスの人数である20名以上の隊員が活動をしています。議会として阿賀町のために活動をしている隊員を町民の皆様に紹介するとともに、町民と協力隊の橋渡しができるようシリーズで隊員の紹介をしていきたいと思ひます。

## 地域おこし 協力隊とは

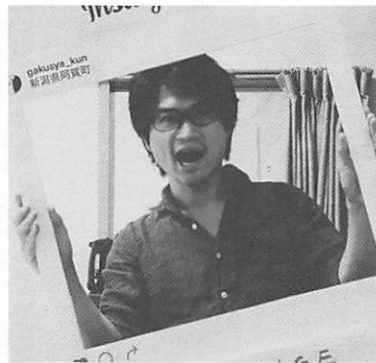
国から隊員1人につき報償費等として年間200万円、活動費として年間150万円、200万円をそれぞれ町に交付される。

各市町村が募集を行ひ、地域おこしや地域の暮らしなどに興味のある都市部の住民を受け入れて地域おこし協力隊として委嘱する。「地域協力活動」に従事してもらひ、あわせて隊員の定住・定着を図る。

隊員の任期は3年までとしている。

## 川田壮一さん (かわだそういち) 黎明学舎塾長

津川地区在住  
出身地・宮崎県



【地域おこし協力隊に応募したきっかけは？】

○私は教育で社会は変わる、変えられると考えています。そして、そのような仕事に携わりたいとも考えていました。

求人サイトで阿賀町教育委員会の想いを拝見し、10年間自分が社会で経験してきたことを活かし、学校だけでは出会えない大人の話を聞いたり、自分の夢を具体的に考えていく体験を提

供できるかもしれない、微力ながら自分だからこそできる仕事があるかもしれない、そう考え応募しました。

【現在の活動内容、日々の活動内容を通じて嬉しかったこと、大変だったことは？】

○黎明高校前の公営塾黎明学舎で塾長をしています。嬉しいことは、生徒の変化を実感することです。自分の仕事を通じて、生徒自身が自分に自信を持った時、自分の高校を自慢に思った時、そして、自分の故郷を誇りに感じた時、その変化を目の当たりにした時、自分の仕事は成果に結びついていると実感し嬉しさを感じます。大変だったことは、全てがゼロからのスタートだったので、自分で考え、行動し、改善することを止めると何も動かない。そんな仕事なので失敗が続いた時は焦りや悔しさで押しつぶされそうになったことも多々あります。

【阿賀町の方へメッセージをお願いします】

○生活環境に馴染めない時期もありました。そんな時手を差し伸べてくれたのは町のみなさんでした。子供たちの元気な挨拶だけで1日頑張れる日もありました。今まで自分が受けてきたことへの感謝を込めて、日々仕事で恩返しできるように頑張っています。また、今、黎明高校生たちは日々成長し続けています。ぜひ黎明学舎のHPでその姿をご覧いただければ幸いです。

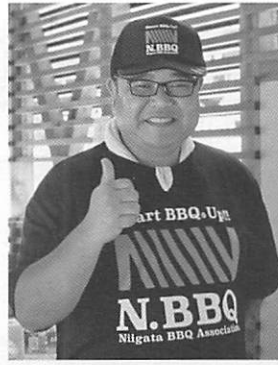


互いに教え合う黎明学舎生徒



# 目黒貴博さん (めぐろたかひろ) 目黒農園

鹿瀬地区在住  
出身地・新潟市



【地域おこし協力隊に応募したきっかけは？】

●自然豊かな阿賀町には温泉やアウトドアを通じて、事ある毎に阿賀町の四季を楽しんでおりました。

県庁で行われた農業就活で農業大学の入学説明会に参加。終了後に新潟県内の農林業社の説明会が開かれました。そこで阿賀町の農林業の話聞き、阿賀町の農林業の現実を聞いたのがきっかけです。

【現在の活動内容、日々の活動内容を通じて嬉しかったこと、大変だったことは？】

4/1より起業し、目黒農園を立ち上げました。今年も阿賀町の特産品である、自然薯・エゴマを中心にニンニク等の根菜類やラズベリを作っています。野菜作りは自然相手の仕事です。自然と常に対話しながら作業してはいますが昨年は雨被害、今年は雨不足と思うようにはいかないのが大変です。やはり野菜作りの醍醐味は良い野菜を収穫出来た時の喜びはそれまでの苦労が報われる瞬間でもありませんので、何よりの喜びです。



目黒さんの自然薯畑

【阿賀町の方へメッセージをお願いします】

●阿賀町地域おこし協力隊として3年間の任期を全うさせて頂きました。ご協力頂きました皆様には感謝致します。

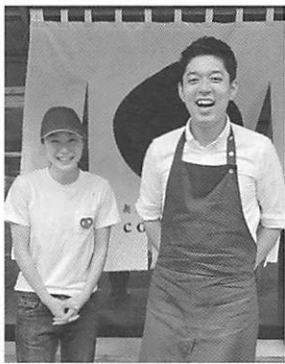
ます。四年目の阿賀町定住者として、これまで以上に頑張つていきます。これからも、ご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。

また、日本バーベキュー協会公認中級インストラクターとしても阿賀町でも活動中です。イベント開催時は本格的なBBQをしますので、こちらも注目して下さい。

# 柳沼陽介さん 沙織さん

(やぎぬまようすけ(さおり)  
農資グロサリーコンビニ)

津川地区在住  
出身地・東京都



【地域おこし協力隊に応募したきっかけは？】

○それまで私(陽介さん)

は東京の食品メーカーで営業や商品の企画開発を担当してました。妻はパティシエとして洋菓子店にて勤務した後、製菓専門学校で講師を務めていました。

結婚する頃から、「いずれは起業したい」、「自然豊かな地方に行つて子育てをしたい」という思いがありました。そんなときに地域おこし協力隊という制度を知り、パンや洋菓子、果樹を中心とした商品開発を専門にしていたため、中山間地で取り組みたいという希望がありました。そんな適地を探していたところ、阿賀町が町内の食材をテーマにした調理、飲食関係業務の隊員を募っていることを見つけた。視察に来たときに、クルミの豊富さに魅力を感じ、家族や阿賀町とも話し合いを重ね、2016年に移住することとなりました。

【今後の展望は？】

○阿賀町も高齢化が進んでいます。クルミを持ってき

てくれる人やむいてくれる人もご年配の方が多いです。今後続けていくためには、若い方の協力が必要です。いかに若い人に魅力を感じてもらえるかが課題になると思います。

阿賀町には観光栗園として営業している九島栗園があります。良い栗なので様々な商品に使っています。町内の栗を町内で加工し、商品として町外へ魅力を発信する取り組みを続けていくためには、次世代を担う栗園の若手の方々に栗栽培の可能性を感じていただくことが必要です。今年度より栗園の皆さんと栗の再生プロジェクトを始めます。

地域おこし協力隊としては最終年となり、ベーカーリーを核とした地域商社として、農業者・生産者の皆さんと共に商品開発を進め、販路を拡げていきたいです。



九島栗園で管理者と懇談



## 議員発議 全員賛成で採択される

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1の復元にかかわる意見書

提出者 宮川 弘 懿

賛成者 入倉 政 盛



少人数学級が多い阿賀町

国の三位一体改革により、かつて2分の1から3分の1に引き下げられた国庫負担金を元に戻すことを国へ要望する意見書である。阿賀町では、平成31年4月町内小学校統合に伴い、複式解消に向け一時的に加配教員が配置されています。しかし、学力に差がある子どもや発達障害のある子どもへの対応など、町単独の学習指導補助員が恒常的に必要となっている実情があります。子どもたちへのきめ細かな指導・学びの質を高めるためにも、学習指導補助員ではなく正規教員の配置が必要不可欠です。

### 追跡調査

## 消防本部庁舎建設計画の進捗

平成30年度当初予算で消防本部庁舎整備工事施工監理業務委託料100万円、消防本部庁舎整備工事4億円の予算計上した。

その後の進捗について調査したところ次のようになっていた。

平成30年4月25日	プロポーザルについて公告		
同年5月25日	申し込み締切り	7社申し込み	
同年7月27日	プロポーザルの企画提案の締切り		
同年8月2日	1次審査予定	同年8月3日	1次審査結果通知
同年8月22日	2次審査	同年8月24日	最終決定

### 広報広聴常任委員会

委員長	入倉 政盛
副委員長	斎藤 栄
委員	石川 太一
委員	五十嵐隆朗
委員	宮川 弘懿
委員	小池 隆晴
委員	清野 眞也

ホームページURLでも本会議の  
会議録が閲覧できます。  
ご活用下さい。

<http://www.town.aga.niigata.jp>

皆様のご意見提言を  
おまちしています。  
どんどんお寄せ下さい。

阿賀町議会 TEL0254-92-3112  
FAX0254-92-5725  
メールアドレス gikai@town.aga.lg.jp

### 編集後記

梅雨明け後猛暑続きですが、健康管理には十分気を付けてお過ごし下さい。

広報広聴常任委員会の役割は、町民の皆さんに議会の活動を解り易く伝えることで、議会活動に理解を深めていただくことです。

しかし、その前に議会活動が皆さんの期待に届くべく活動しているかが問題です。皆さんの期待に届くべき活動があつて、それを如何に解り易く興味がもてるように示せるかです。これは、永遠の課題です。

研修に行きますと、広報より広聴がまず先ではないかと  
言われることもあります。

私たち常任委員会一同、日々  
皆さんを積んでまいります。

(宮川弘懿)